

平成21年度第6回 産業応用部門論文委員会主査会議議事録（案）

1. 日時 平成22年2月2日（火） 13：30－15：30
2. 場所 電気学会事務局内会議室
3. 出席者(敬称略)
大石（編修長，長岡技術科学大学）、村上（編修長補佐，慶応大学）、藤崎（D1副主査，新日鐵）、織田（D2主査，パナソニック）、寺田（D2副主査，徳島大学）、松岡（D3主査，東芝）、高瀬（D3副主査，摂南大学）
4. 提出資料
 - 21-6-0 議題票（藤崎）
 - 21-6-1 前回議事録（案）（藤崎）
 - 21-6-2 電子査読システムの運用状況（村上）
 - 21-6-3-1 論文委員候補者推薦用紙、平成22年度論文委員会改選案（村上）
 - 21-6-3-2 D1平成22年度論文委員会改選案（藤崎）
 - 21-6-3-3 論文幹事候補者推薦用紙（久保田、村上代）
 - 21-6-4 D部門誌タイトル変更（村上）
 - 21-6-5 産業応用部門表彰規定（改定案）（村上）
 - 21-6-6 投稿論文査読の基本処理フロー（村上）
 - 21-6-7 査読割り当て（村上）
5. 議事
 - 5.1 前回議事録の確認（資料21-6-1）
 - ・ 議事録については、特に問題なく、承認された。
 - 5.2 電子査読システム運用状況について（資料21-6-2）
 - ・ 電子査読システム運用状況について報告があった。和文誌については、D1, D2, D3ともに昨年より多い投稿数であったが、英文誌はD3を除いて減少している。
 - 5.3 論文委員候補者の推薦、平成22年度論文委員会改選案（資料21-6-3-1, 2, 3）
 - ・ D1部門の論文委員推薦者について報告があり、当初32名中、前回承認が9名、今回承認予定が9名、辞退・保留が4名、推薦用紙待ちが10名であった。
 - ・ 今回推薦に上がった9名中、7名は承認された。残り2名については、推薦用紙到着後メール審議となった。
 - ・ D1, D2, D3グループの平成22年度論文委員会改選案が提出され、原案どおり了承された。
 - 5.4 D部門誌タイトル変更について（資料21-6-4）
 - ・ 掲載決定済のD部門論文について、著者よりタイトル変更願が出された。通常認められないことであるので、本会にて審議を行った。

- ・ その結果、修正の理由として、技術用語の使い方としての不適切性であれば修正は受理するが、それ以外であれば却下することになった。
- 5.5 産業応用部門表彰規定（改定案）について（資料 2 1 - 6 - 5）
- ・ 電気学会の論文賞と並行して、産業応用部門の論文賞設立案が出され、そのための規定改定案が示され、審議を行った。
 - ・ 初年度の論文賞のみ過去数年さかのぼることとし、その他は了承された。
 - ・ これに伴い、今年度の論文賞候補を各 Gr にて審議して頂き（選定の仕方は各 Gr 一任、次点まで明記）、次回の主査会で決定することになった。
- 5.6 投稿論文査読の基本処理フローについて（資料 2 1 - 6 - 6、7）
- ・ 英文誌にて、「C」判定が付与できるようになったとの報告があった。これにより、英文誌も、基本的には和文誌と同様の査読の処理フローになった。
 - ・ 査読システムとして、同じ査読段階で、（随時）追加査読者指定が可能となった。
 - ・ 第三者査読について詳細なフローを作成することになった。
 - ・ 合わせて、次回の論文委員会の際に、新任の幹事に対して、査読フローの説明を 3 Gr 合同で行うことになった。
 - ・ 2 回目の査読において、1 回目の査読結果を、1 回目に A または D を付けた査読者を除いて、原則として、査読者二人に同時に出すことについて議論を行った。
- 5.8 その他関連・連絡事項
- ・ 電子ジャーナルが、H23.5 より開始される予定との話があった。投稿費用は現行より軽減する方向。
 - ・ IPEC-Sapporo 特集号が H23.6 に予定されている。他の特集号については特になし。
 - ・ 電子投稿・査読システムの新システムへの移行が決定されたとの報告があった。これにより、部門間を超えて査読者を閲覧することが可能となる。
6. 次回開催予定
- ・ 日時： 平成 22 年 3 月 31 日（水） 13：00 から 15：00

以上